

令和3年度第1回関市環境審議会 会議録

- ◆日 時：令和4年3月23日（水）10:00～12:00
 - ◆場 所：わかくさ・プラザ学習情報館 2階 2-1 会議室
 - ◆出席者及び欠席者 《敬称略》
 - (1) 出席者：田中 耕、津田 格、各務剛児、亀山正道、多田幸泰、
野木森里香、宮部英門、中嶋亘、平田和雄
 - (2) 欠席者：水野友有、北村房子、松田真之介

 - (3) 事務局：西部靖（市民環境部長）、和座宏之（環境課長）、
神戸功、小椋かおり、大鹿佑志郎、
 - (4) 傍聴者：木村爽
-

1. 開会

【和座課長】

本日はご多忙の中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。定刻となりましたのでこれより関市環境審議会を開会させていただきます。通常時では関市民憲章のご唱和をお願いしておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ご唱和は省略させていただきます。なお、関市民憲章はお手元に配布してございます次第の裏面にご覧いただけます。それでは、市民環境部長からご挨拶を申し上げます。

2. 部長あいさつ

<部長挨拶>

【和座課長】

ありがとうございました。では次第の3番でございますが、その前に本会議の審査について確認させていただきます。お手元に委員名簿をお配りしてございますが、当審議会は12名の委員数でございます。もう1枚環境都市宣言と記載したものがお手元にあるかと思いますが、その裏に「関市環境審議会規則」を付けさせていただいております。この第3条第1項の規定には「審議会の会議は、委員の半数以上の出席をもって成立する」とありますことから、本日ご出席の委員数は9名でございますので、委員の半数以上が出席となり、本日の会議が成立したことをご確認させていただきます。

次に、委員の皆様と事務局のご紹介をさせていただきます。

<各委員・事務局の紹介>

【和座課長】

本審議会の議長は、慣例により会長が行うこととなっておりますことから、これより会議

の進行を会長をお願いをしたいと思います。

会長さん、よろしく願いいたします。

3. 報告事項

1) 環境審議会の概要（位置づけ）について

2) 関市環境基本計画（第三次見直し）基本的施策の進捗状況について

【田中会長】

それではご指名でございますので、次第に従いまして議事を進めていきたいと思っております。本日の議題、5つの報告事項をいただいておりますので、順次事務局からご報告お願いいたします。始めに報告事項3. 1)、2)をご報告よろしく願いいたします。

<事務局が資料に基づき説明>

資料 関市環境基本計画（第三次見直し）基本的施策の進捗状況について

【田中会長】

ご意見や質疑がございましたら、挙手をお願いしたいですが、ありますでしょうか。

【津田委員】

1 ページ目の「良好な景観の保全及び創出」のところで「森林・里山・田園景観の保全」でBからAに上がっていると思いますが、具体的にどういう取り組みをされたのか分かりにくいので、下の取り組み実績のどれにあたるのかお聞かせいただければと思います。

【田中会長】

事務局よろしいでしょうか。

【事務局神戸】

こちらの項目については、関市環境基本計画 24 ページに、「森林の保全について」、「森林づくりを支える人材の育成確保と基盤整備」という取り組みがあります。その項目について農林課の回答が昨年未実施だったのですが、今年実施になっておりましたので、昨年の取り組み実績が16だったのに対し今年17になっており、Aに上がっております。

【津田委員】

人材育成などそういうところによって増えたということですか。

【事務局神戸】

そのように聞いております。

【津田委員】

他のところもですが、下に取り組み実績を書いているのですが、上の項目のどれにあたるのか分かりにくく、考えながら読まざるを得ないところがあります。昨年度もだったと思うのですが、これからは分かるように記載していただくと判断しやすいと思います。

【事務局神戸】

そうですね。基本的施策の1から4のどれに該当するか、どれに対する実績なのか、次から表示されるように変更したいと思います。ありがとうございます。

【津田委員】

2 ページ目の生物多様性の確保の1 番上ですが、取り組み実績のところ、「市有林における利用間伐や再造林の実施」というのが書かれているのですが、これはどちらかというところ下の2の2「森林の保全」に関連すると思うのですが、内容的には生物多様性に関わることになるのでしょうか。

【事務局神戸】

こちらも一度確認します。

【津田委員】

同じページの「自然環境の保全」の部分ですが、取り組み実績を見させていただいているのですが、どの項目にあたるか分かりづらいところがあります。2の4「自然とのふれあいづくり」の実績としてはわかりやすいと思いますが、保全に関わるような実績というのは見当たらない気がします。一番下の「市産材を天板に活用した学校机・椅子の購入」については森林のところに入ることになるので、森林の保全に関わると思うのですが、それ以外の1や3、5のところについては保全としてはあまり実績がないかと思います。この辺の説明をいただけますでしょうか。

【事務局神戸】

森林の環境の保全は項目としては、ほとんどが農林課の担当になっております。具体的な取組として「森林整備計画による森林整備」、「造林、間伐による森林整備」、「健全で多様な森林づくり」、「林道整備、林業経営の支援」ということが計画に上がっております。

【西部部長】

おそらく基本計画の細かいところがお出しできておらず、わかりにくい資料になっているのかと思います。大変申し訳ございません。例えば今のところだと、2 ページで2 基本目標「自然と共生するまち」、その横の施策の方針2「自然環境の保全」、その横に行き、基本的施策を5つ「河川環境の保全」から「水循環の保全」と入れております。

例えば2「森林保全」でいいますと、17の項目があるということで、今現在15の数だけを実施している、実施している最中、あるいは完了している、というわけですが、その17の項目というのは基本計画の中で細かく書いているわけです。今申し上げたように、単純なところから言うとマスタープランの計画の策定であるとか、保安林の指定とか、そういった目に見えない部分、あるいは行動的なものまで色々な項目のところまで17ある。そのうちにここで特記事項として、取り組み事項として書いておりませんが、すでに前から行っている、終わっている、というものもある関係でここに全部書ききることができなくて、今ご指摘の通り分かりにくいものとなっていると思います。今後分かりやすくしていこうと思います。

【津田委員】

ありがとうございます。保全活動は見えにくいというか、説明しにくいところもあるかと思うので、その辺わかりやすく提示していただければと思います。

【平田副会長】

1つお伺いします。今回重点目標ということで、それぞれの取り組みの実施で、今年度は

カッコして都市計画課など色々な課がやっているということが書いてあるので、分かりやすいです。どこの課が担当しているのかわかりやすいので、各課に連絡して実施状況を見るということによいと思います。

評価の100%、A、B、C、の評価は事務局でやっておられるのか。例えばまちづくりの通信簿などでやっておられるのか。

事務局が色々なところで自然観察をやられておられるので、私は評価したいと思います。私は身近にそういうところとつながりがあるので、昨年度に比べてやっておられるので、評価が厳しいと思いながら見ております。

【事務局神戸】

評価については全部取り組んだらAです、取り組みが1個2個欠けていたらBですが、計画にはいろいろな取り組みがあり、実際には取り組む必要がない取組もあつたりするので、Bでも実質Aに近いものもあります。公共施設を作るときに検討するという取組で施設の建設が無い場合や、道路整備等の際に環境木を選定するという項目では、道路整備が毎年必ずしもあるとは限りません。こちらの評価方法については、各課からの回答状況での実施状況で評価しております。最初に説明させていただいた項目ごとで何個取り組んでいるかで単純に数字で評価しているだけです。内容での評価まで精査できていないです。

【田中会長】

ありがとうございます。99%ですと十分に取り組んだと思うのですが、必ず100%でないとAにならないのかという厳しい評価と思うので、ずっとこのようなパターンなのですか。

【事務局神戸】

過去については前年と比較し、取り組み状況の増減で評価をしていた、現在のABC評価については、何年前かにこの方法に変えたと聞いております。現在の方法も一個取り組んでいないだけで、AではなくBになってしまうので、厳しいと思っております。

【事務局小椋】

補足させていただきます。評価の方法については平成29年度までは全く違う評価の方法をしていまして、各課から報告をもらった、実施した数が前年より増えたか減ったかというところだけの単純な評価方法をしておりました。どういった取り組みをしたというのも特になく、やったかやっていないかの数が前年よりも増えたか減ったかで評価していた関係で、当時の審議会で、評価方法を検討したほうがいいという意見がありまして、平成30年度にこの評価方法を新しく作りました。まず作ってみたというところからはじまり、年々審議会でいろいろなご意見をいただきながら、こういうところをこうしたほうがいいなど、改訂を重ねてよりよい評価方法にしていく段階ですので、今のように意見を出していただけると、わかりやすい評価方法にもなりますし、各課の取り組みについても評価から取り組みに落とすことができると思いますので、よろしく願いいたします。

【田中会長】

あまり変わりすぎるのもよくないので、しばらくこれでいくのかなと気がします。ありがとうございました。

【野木森委員】

気になったのは、取り組み実績の中で農業の関係で行くと、1ページ目の2番の実績の中の「農地保全対策と荒廃農地の抑制」ですが、どちらかという次のページの保全の部分になってくるかなと思います。いわゆる施策の中にはいろいろな効果があって、色々なところにぶら下がってくると思うのですが、一般の市民の方が見たときに多面的に捉えられるかというところではなくて、農地の保全のところ「スマート農業サミットへの参加」がありますが、これを読んだ市民の方は「はあ。」と首を傾げると思います。ですので、スマート農業を載せるよりは、今の「農地保全対策と荒廃農地の抑制」を入れた方が農地の保全に直接結びつくのかなと思います。各課からの報告をこういった形でまとめられると思うのですが、その施策の主体な目標が何なのかというところを考えていただいて、そこを記載してもらって、あとは再掲という形で項目を足していただくという形に修正されると市民の方もわかりやすいのかなと、あとはスマート農業サミットなどの参加というの、これだけ見ると市民はわからないと思うのです。なので、耕作放棄地が発生しやすい農家の減少が著しい準山間地域での農地を保全していくためにスマート農業を推進していくために、こう言ったサミットに参加したと、+αで文言を足していただくと市民の方もわかりやすいと思います。

評価の話が出たと思うのですが、今施策のやったかやらないかでカウントされておりますが、私のイメージでは施策の本数をやったから効果が出るかと言ったら、そうでないこともあるわけです。例えば農地の保全であれば、耕作放棄地をこれだけ減らした。そのために何をやるか、スマート農業を推進したり、耕作放棄地を解消するために、法人を作ったとか、そういった施策がぶら下がってくるわけで、評価をするのは目標をそれぞれの項目に建てていただいて、その目標を達成できたかどうかで判断するか、目標の建てかたがちょっと難しいですけど、そういった形にされると市民にもアピールしやすいのかなと思えました。

【事務局神戸】

ありがとうございます。私も取りまとめしている中で、前年と同じやり方をさせていただいて、評価について検討する必要があると思います。基本的施策で濃い字になって重点と書いてあるものについては、後ほど説明させていただく重点施策の目標ということで、それについては目標値があったりしますので、取り組んでいるか取り組んでいないかではなく、目標に向けてどの程度達成できているかということで評価をしております。

具体的な取り組みについても、見ていると項目が入っている場所がおかしいのではないかと。取り組み状況の報告でも、担当課も理解せずに環境課が調査依頼してきたから回答しているだけという部分もあるのかなと思いますので、一度内容を精査して見直しをしていく必要があると思います。

3次見直しについては平成31年3月ということで平成30年度に行っておりまして、それから5年経過するのが、本当は令和5年度末なのですが、今回のゼロカーボンシティ宣言を受けて、来年度に1年前倒して第二期の計画を策定することになりました。

1年という短い期間になりますが、審議会や庁内の会議等で、内容の精査をしていければ

と思います。

【田中会長】

よろしいでしょうか。なければ次の議題に入りたいと思います。3) 関市環境基本計画(第三次見直し) 重点施策と目標指標の進捗状況についてお願いします。

3) 関市環境基本計画(第三次見直し) 重点施策と目標指標の進捗状況について

<事務局が資料に基づき説明>

資料 令和元年(2019)～令和5年(2023)年度の重点施策と目標指標の進捗状況について

【田中会長】

ありがとうございます。ご意見ご質問がありましたら、挙手をお願いします。多田先生お願いします。

【多田委員】

重点施策3に関して2点ありまして、1点目は先ほどのご説明の中でリサイクル率に関して民間の資源回収ステーションが増えているということで、関市内で資源回収ステーションをやられている会社は4社か5社くらいだと思うのですが、その会社に出してもらえばいいのではかと。率直なところでステーションを運営している会社さんは利益率が高いものを回収していると思うのですね。缶や段ボール、古着、古紙が大体だと思うのですが、そんなに難しいことではないので、リサイクル率を出すのであれば業者に関市でどのくらいか聞いてみればおよそでも出ると思うので、依頼すればいいのではないのかなと思います。

2点目は、まもなく新しい法律が施行されます。プラスチック資源循環促進法。身近なところで、コンビニのスプーンやフォーク、ビジネスホテルの髭剃りが無償提供禁止といえますか、有料で提供するようになりますが、行政に関する点もあって、分別回収と回収したものを再商品化という項目があるのですが、この法律に向けてどのような動きをされるか教えていただきたい。

【事務局神戸】

まずリサイクル率については、民間のリサイクルについて、業者に確認については、廃棄物係に聞いた話によると関市の回収だけでなく、色々な市を周って回収するので、その量が正確かどうか分かるのか問題ですが、再度またこの計画の策定があるので、どの程度把握できるか照会していく必要もあるかと思います。プラスチックについてもそのような動きがあるみたいですが、関市でも過去にプラスチックの収集をしていたが、量が集まらないというのと、納豆のパックや汚いものを間違えて入れる方がいたりして、コストがかかるなどいろいろな経緯があって止めているので、今こう言った動きがある中で慎重に進めていく必要があると思います。例えば品目を絞って回収するとか、パックなどは間違えてしまうこと

が多いみたいなのでその辺の取り組みを検討していく必要があると聞いております。

【田中会長】

他にはないでしょうか。

【津田委員】

先ほどの基本施策と似たようなところですが、重点施策2の「生物多様性の確保」への取り組みのところですが、生物多様性への理解のある市民の増加で意識調査が上がっているわけですが、平田副会長が言われた通り、観察会などが増えているということは私も良いことだと思うのですが、市民の方の意識を変えていくのに重要なことと思うのですが、どちらかというところと保全の取り組みの方が大事だと思いました。オオキンケイギクなど特定外来生物の駆除をするとか、具体的に上がっているのですが、それ以外にどういった保全の取り組みがあるのか出ていないのと、項目の生物多様性への理解ある市民の増加が指標項目としてあがっていたことが、どうなのかと思気になるところです。どちらかというところと環境教育になるかと思えます。重点施策5の「次世代につなげるための環境教育」のところにも具体的に上がっているのです、こちらで観察会のことは上げていただいた方が分かりやすいと思えます。

生物多様性への理解ある市民の増加の一番下にある関市版ブルーデータ、レッドデータの作成方法を検討するというのがありますが、昨年から変わっていないので、ここの動きがあるか聞きたいです。

【事務局神戸】

こちら重点施策に入れる項目等は計画を作るときに確認をしていく必要があると思えます。ブルーデータ、レッドデータの作成方法を検討するというのも、昨年度の審議会の議事録等を確認したら載っていました。今回は環境基本計画の策定ということで、業者から見積もりや打ち合わせをしている中で、こういったレッドデータを作るとしたらどれぐらいになるのか、照会をかけたのですが、調査には2年以上かけて行うということ、調査を行うと1千万円以上かかります。費用対効果を考えてどこまで検討するのかということ、県がレッドデータブックを作っていること、第一種や第二種等は国のレッドデータブックに準ずるなど、既に分布図はある中で、1千万円以上かけて関市独自のレッドデータブックを作る必要があるのかということところが課題になるので、変わる方法で何か検討するのが課題になるかと思えます。

【津田委員】

ありがとうございます。県の方もかなり詳しく作っているのと、岐阜県植物誌という本が出てくると思うのですが、これもかなり詳しく県内の植物のことは網羅しているのです、植物についてはすでに代わりとなるものがあるのかなと思えます。レッドデータブックはあるといいとは思いますが、かなり高額な予算が必要になるとのことですし、作らないという選択も仕方ないかもしれません。またレッドデータブックは作ったら終わりではなくてそれが出発点ですので作ることを目標にするのではなく、代替のものを使うにしてもそれを使って何をするのが大事だと思えます。

あとは観察会のことですが、具体的に本当にいるのかどうかという調査、どこまでされ

ているかというのが気になるところで、市民を巻き込んだ調査の方法とかを、他の市町村の事例があると思うのですね。私が把握しているものだと大阪市の生物調査だと、毎月1回コースを決めて、10~20人ぐらい募集をかけて、大阪市の環境局が行っていると思うのですが、何年かに一回同じコースを回るように順繰り行って、きちんとしたデータが集まっておりかなり細かく地図上に分布など落としたりして、それぞれの生物の生息状況がわかるようになっている。そういうことも考えていただくとよいかと思います。

【平田副会長】

今の津田さんの意見には私も賛同するところなのですが、予算的に考えると大変だなと思います。関市は大きな自然が板取から上之保まであるので、それを調査するのは非常に大変だと思います。しかし、やっていかないとあつたらしいということで終わってしまうので、是非やってほしいと思います。この関市の環境の中では川の調査は行われていますが、水生生物から植物まで網羅しようと考えたら、事務局の中でも自然環境課を作らないと大変だと思いますが、今後の課題を10年待っても遅いので早急にやっていただくことを期待しています。

【津田委員】

平田さんの補足になりますが、板取とか良い自然環境がそろっていて大切だと思うのですが、旧関地域の環境の変化がすごく著しいと思います。私の見ている身近な生物でも減っていきまして、そういうところを住んでいる人がどのように考えているのかが、今後重要になっているのかと思います。昔から住んでいる人が身近なところをどのように考えているかですね、気に留めていただくとよいかと思います。

【田中会長】

野鳥の会の何方か、分布とかの話をお願いします。

【亀山委員】

時代的に言うとなんか少なくなっている。これは環境が整備されていないという現実がある。山の縁を切っちゃったり道を切り開いたり、木を切って見晴らしをよくするなど、これはもう明らかに住めるような場所ではないです。このような場所は大切なところなので残していかないといけないと思います。

今朝、カタクリの里を見に行きましたが、これから花が咲いてギフチョウが来るという場所があるのでこれは地元が理解して保全してくれるから残っているのであって、市が行うのではなく、地元が行うことを大切にしないといけないと思います。変化も起きているのでそれに合った開示策をすることが大切だと思います。

【田中会長】

学校の先生とも連携していかないといけないと思います。次の議題の4)第二期関市環境基本計画の策定について、事務局説明をお願いします。

4) 第二期関市環境基本計画の策定について

<事務局が説明>

【田中会長】

何か質問などございませんでしょうか。

続きまして5) 令和3年度版 関市の環境について、事務局説明をお願いします。

5) 令和3年度版 関市の環境について

<事務局が資料に基づき説明>

資料 関市の環境

【田中会長】

ありがとうございます。ただいまの関市の環境について質問がある方、挙手をお願いします。

表があると思いますが、これをグラフにして推移が分かりやすくすると見やすくなると思います。後ろのデータについては表でいいと思います

【事務局神戸】

検討致します。

【田中会長】

他に何かご意見がある方。

【津田委員】

修正点があると思います。55ページの資源集団回収奨励金の数値が間違っているのではないかと思います。令和2年度の回収量が桁一つ間違っていると思います。

【事務局神戸】

一度確認し、訂正してホームページに掲載したいと思います。

【田中会長】

他にある方、挙手をお願いします。

【宮部委員】

全体的なところで、私は関で育ち、川で釣りをし、ホテルをみて、自然が大好きなのですが、このような評価を拝見して、刃物産業も活況で観光に関しても関市外から人が来ているのですが、人以外の生物が減っているのではないか、山林や田畑を見ていると町にいと今市の現状を把握できていないのですが、次世代に関市はいいところだと伝えるためにこのような審議会を行っているわけで、もう少し自然生物に関することを直視して、今後何をしなければならないか本質的な議論をしていかないといけないわけです。環境課も市役所内でリーダーシップをとって各課にモノが言える立場でいていただきたいというのが私の思いで、ふるさと納税で現金に余裕があるのであればもっと予算を取って実働的に活動するべきだと思います。もっと環境に対しての意識付けや保全等を自治会や商工会や青年会議所など地域の代表と連携してみんなですこしずつやれば自然を盛返していける地域だと思うので頑張ってください。

【事務局神戸】

ありがとうございます。

【田中会長】

関市の環境について、後日気になるところがあれば環境課に連絡してください。これで議題はすべて終わりました。次第の4その他で何かあればお願いします。各務委員何かありますか。

【各務委員】

環境教育のことで提案があります。基本的施策・重点施策に環境教育がありますが、ゼロカーボンシティ宣言で動きはないけど宣言はしたということで、2050年というかなり先の話になります。10歳の子が38歳になるぐらいで、小学生高学年からカーボンニュートラル、ゼロカーボンなどをわかりやすく説明をするような事業をしてみてもどうでしょうか。

【田中会長】

ありがとうございます。次中嶋委員お願いします。

【中嶋委員】

私は毎月不法投棄の見回りをしておりまして、不法投棄が増えています。地主が処分するのは当然ですが、みんなで助け合ってどう捨てたらよいか市民の方に説明をしていただきたいです。市の方は新しいことをやっていない現実があると思います。関市も環境に関して新しいことをやっていただければ、関市の環境を保全していくことに協力お願いします。

【田中会長】

ゴミの問題非常に大切ですね。昨年の熱海市の災害にもつながるところですので、環境課さんそのようなことがないようによろしくお願いします。他にはご意見よろしいでしょうか

【和座課長】

田中会長をはじめ委員の皆様、本日は、貴重なご意見をありがとうございました。

環境課が主体となって、連携を取ってやっていくとか、環境教育に力を入れるとか、不法投棄の監視を徹底していくとか貴重な意見をいただきました。ゼロカーボンシティ宣言をしたので他のことにも力を入れていきたいと思っています。

これにて、令和3年度第1回関市環境審議会を閉会いたします。本日はお疲れ様でした。お気をつけてお帰りください。